

JATS について

中西印刷株式会社
2014/1/30

<u>JATS の成立</u>	1
-----------------------	---

JATS の成立

XML はそれぞれの目的に応じて、さまざまな文書構造定義を行います。学術雑誌情報の文書構造定義を行ったのが JATS (Journal Article Tag Suite) です。現在、国際的には学術雑誌の情報は JATS で書くことがデフォルトになっています。実は J-STAGE や PubMed Central に XML でデータを提供する時は、この JATS に従った XML を書くということに他ならないのです。

JATS 以前には、インターネットのホームページに HTML で論文を掲載するために出版社ごとに異なったスキーマを使って XML を作成していました。これでは XML というだけで、相互に互換性はありません。その中で、National Library of Medicine (米国国立医学図書館) は NLM DTD (Document Type Definition) といわれるものを作成します。NLM は世界最大の予算規模を持つアメリカ合衆国の National (国立) ということで、さまざまな先進的な試みを行ってきました。特に、医学関係の文献流通に Medline というかたちで早くから取り組んで来たことで学術情報の電子化に大きな影響力を持ちます。Medline はその後 PubMed から PubMed Central へと発展する過程で独自のスキーマをもつにいたるのです。それが NLM DTD です。

やがてこれだけ影響力の大きい機関が作るスキーマということで医学関係の電子化文書のデファクトスタンダードとなっていきます。これをうけて学術情報全体にも拡張し医学関係だけでなく幅広く扱えるようにしたのが JATS です。JATS は日本での JIS 規格にあたるアメリカの NISO 規格となっており、今後も永く使われることになると思われます。今までは英語が中心で日本語は扱えませんでした。JATS0.4 以後、日本語も扱えるようになり、J-STAGE で採用されるに到っています。